

北毛周辺の生き物たち

〈ニホンアナグマ〉



【特徴】

その名の通り穴を掘るのが得意で、地中にいくつもの出入り口と通路がある大きな巣穴をつくります。その全長は数十mになることもあります。必ずしも巣穴全体を使うわけではなく、使っていない場所にたぬきなどが住みつくこともあります。夜行性で昼間は主に巣穴の中で生活をし冬には冬眠をします。

【出現ポイント】

初夏から秋にかけてグラウンド横の側溝に顔を出すことがある。

〈タヌキ〉



【特徴】

外見は、アナグマにも似ているが犬の仲間です。本来夜行性ですが、人間の影響の少ない環境下では昼間でも活動します。本来山林に住んでいましたが、山林の減少により近年は街中に顔をだしたり街中に住みつくこともあります。臆病な性格で自動車のライトにすくんでしまう習性があり、交通事故にあう件数が非常に多いです。特定の場所に糞をする「ため糞」をする習性があります。

【出現ポイント】

北毛周辺の道路で見かけることがあります。

〈カモシカ〉



【特徴】

カモシカという名前からシカの仲間とおもわれることもありますが、分類上は牛の仲間です。個体数が減少し国の特別天然記念物に指定され保護政策がとられてきました。保護政策により近年は個体数が回復傾向にあります。性格はおとなしく人に危害を与える動物ではありません。山道で出会うとしばらくこちらを見つめて、気がすむとむこうから山の中に去って行きます。

【出現ポイント】

小野子山周辺で見かけることがあります。

〈イノシシ〉



【特徴】

一般的に夜行性と思われがちですが、本来は昼行性です。警戒心が強いため人間が活動している時間の活動を避けるため活動圏が人間の活動圏と重なる場合には、夜間の活動が多くなります。身体能力に優れ1 m程度の柵なら飛び越えてしまいます。最高速度も時速45 kmに達します。山林に生えている植物の根や地下茎を好んで食べ、上手に地面を掘り起こします。

【出現ポイント】

キャンプファイヤー場やウォークラリーコースで穴を掘った後をよく見かけます。ごくまれに敷地内に顔を出すこともあります。

〈キジ〉



【特徴】

キジは、日本の国鳥です。色鮮やかなのはおすだけで、めすは全身茶色です。桃太郎の話にも出てくる日本人になじみの深い鳥です。「ケーン、ケーン」という鳴き声やほとんど飛ばずちょこちょこ歩いているのが特徴的です。

【出現ポイント】

ウォークラリーコースでよく見かけます。